平成30年度おおさか農政アクションプラン評価･点検部会　議事概要

日　　時 平成３０年８月３日（金）１０：００～１２：００

場　　所 大阪赤十字会館４０２会議室

出席委員 増田委員、藤田委員、和田委員

内　容

１　事務局説明

* 平成29年度アクションプランの進捗状況について

２　委員の主な意見

○　主力野菜の供給量が減っているが、農協出荷は全国的にも減っており、重量ベースだけで把握するのは難しいのではないか。

○　ハートフルアグリについて、テレワークなど、ITを用いて、家の中から農業と関われるような省力的な発想、ソフト面の転換を考えるべき。

○　大阪産（もん）のホームページの閲覧数が減少しているが、今はSNSが主流で、ホームページやメールを見ない人も多い。閲覧数という考え方は見直しを検討する必要がある。

○　大阪の食や農業は、インバウンドをターゲットにすることで、ビジネスチャンスになる。インバウンドも指標に入れることを検討してはどうか。

○　「大阪府都市農業の推進及び農空間の保全と活用に関する条例」を改正したが、その内容を本アクションプランにも反映させるべき。

○　評価･課題に分析をどう書き込んでいくかが今日の一番大きな視点。個別の指標については、どのように質を追求していくべきか、項目ごとに議論が必要。

時代の移り変わりが速いので、KPI指標の見直しも必要になってくる。